

『宝ヶ池の沈まぬ亀 ある映画作家の日記 2016-2020』

青山真治 著

1月下旬発売

映画を観る、映画を作る、音楽を聴く、音楽を作る、本を読む、文を書く
食べる、酒を飲む、旅をする、病に冒される、つまり生きる

『Helpless』『ユリイカ』『共喰い』『空に住む』などで知られる映画監督
青山真治がコロナの時代を前に記した日付のない日記

翌朝も雨は降り続き、そんななかただ「ショットとは何か」で語られるグリフィスのことばかり脳裏に漂う。しかもあの『スージーの真心』の、男が村を出て行く別れの際に微笑みながら見送るリリアン・ギッシュが背を向けて庭の奥に歩いて行き少し離れた倒木の傍でバタリと泣き崩れる、いやもしくは気を失ったのかもしれないが、あのフィックスの1ショットについてばかりだ。あれを映画史上最も哀しくも美しいショットとして決して忘れることはないが、ここから何かを見つけなければならぬと毎度考える。(本文より)

2016年4月から2020年8月まで、WEBマガジン「boidマガジン」に連載された日記を、加筆修正。日記は現在もboidマガジンにて永遠の「続く」を目指して続行中。

■青山真治

1964年7月13日、福岡県北九州市門司に生まれる。立教大学文学部卒。

1996年『Helpless』で映画監督デビュー。2000年『EUREKA』がカンヌ映画祭で二つの賞を受賞。同作の小説版が三島由紀夫賞を受賞。11年『東京公園』でロカルノ映画祭金豹賞。その他の代表作に『月の砂漠』『エリエリマサバクタニ』『サッドヴァケイション』『共喰い』など。2015年度まで四年間、多摩美術大学映像演劇学科教授。同学の卒業生、甫木元空監督『はるねこ』をプロデュース。制作会社「MINER LEAGUE」設立。2016年京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)映画学科の学科長を一年のみ務める。最新作は『空に住む』(2020年)。

[製作・発売：株式会社 boid]

番線印	ご注文	発行：boid	分野
	冊	宝ヶ池の沈まぬ亀 ある映画作家の日記 2016-2020 青山真治 著	小説・エッセイ
	ご担当	四六判変形 上製本 512 ページ 定価：本体 3,200 円+税 ISBN 978-4-9912391-0-6	出荷条件： 返品条件付 注文扱い
	様	新刊	

ご注文・お問合せは JRC へ お申し込み FAX 03-3294-2177

JRC 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-34 風間ビル 1F

TEL：03-5283-2230 E-mail：info@JRC-book.com

詳細：www.boid-s.com

*全ての取次ぎへの出荷可能です。